



配信日: 2024.12.3

＜セミナーのご案内＞


育成講座・セミナー・イベント・説明会の情報をお届けします

こんにちは。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も残りわずかとなりました。年の締めくくりに、来年へのステップとするために役立つセミナーを開催いたします。

セミナーでは、最新の AI 活用法から実務に役立つ Excel の技術まで、さまざまなテーマを取り上げます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

育成講座・セミナー・イベント・説明会のご案内



レイ・ポインター氏のAI講座
『インサイト産業におけるAI活用の最新動向』
2024年12月11日(水) 13:30~16:00

●レイ・ポインター氏のAI講座 インサイト産業におけるAI活用の最新動向

ChatGPTをはじめとする生成AIの進化が続いています。世界のマーケティングリサーチ・インサイト産業界ではすでに実装が進み、有効活用に向けた検証段階に入っているとされています。

今年の5月に続き、当業界の国際組織であるESOMARの会長であり、AIタスクフォースを率いるレイ・ポインター氏が再来日される機会に合わせて、「リサーチャー向け」のAI活用セミナーを対面式(会場型)で開催することになりました。本セミナーでは、この半年間で急速に実用化されたアプリやプログラムを用いて、定量・定性調査向けに活用する具体的事例をご紹介いただくとともに、注意を払う必要がある諸課題の解説をお願いしています。

・日程: 2024年12月11日(水) 13:30~16:00

・会場: JMRA 研修室(会場集合型対面形式)、英語によるセミナー(日本語解説付き)

[詳しくはこちら](#)

AI・イノベーションセミナー第6回

「Python in Excel」で変わるリサーチ実務(事前準備編)

12.12 木曜日 12:00~12:55 @zoom 佐藤哲也氏 (株)アンド・ディ



●AI・イノベーションセミナー第6回

「Python in Excel」活用によるリサーチ実務の生産性向上策

JMRA リサーチ・イノベーション委員会の本セミナーシリーズでは、過去5回にわたって生成AIを活用した会員社の取り組みをご紹介してきました。今回は少々趣向を変えて、現場の実務改善や生産性向上に活用できる可能性の高い、Excelの最新動向にフォーカスします。

ほとんどのリサーチャーが実務でExcelを利用していると思いますが、Pythonを取り入れることで(業務によっては)大幅な効率向上が期待できます。

今回はまだPythonを全く使っていない方にもわかりやすく、「できること、できないこと」「Python

in Excel が向く業務・向かない業務」について解説します。現場のリサーチャーだけでなく、管理者向けにもお勧めです。

・日程: 2024 年 12 月 12 日(木) 12:00~12:55

・会場: オンライン (Zoom ミーティングを使用)

詳しくはこちら
(外部サイト:peatix)



マーケティング・リサーチ エキスパートコース ~テスト・実験調査の設計と 2024 年 12 月 13 日(金) 結果のデータ分析~

●マーケティング・リサーチ・エキスパートコース

~CLT・HUT(テスト・実験調査)の設計と結果のデータ分析~

本講座では、テスト・実験調査の様々な構成要素に関わる計画立案の方法を学習します。さらに、各種のテスト・実験の結果から得られた様々なデータの分析手法も学習します。

テスト・実験調査に関わるこれらの学習によって、目的に即したテスト・実験調査の妥当な計画立案が可能となるとともに、得られたデータから目的に即した信頼できる結果を検出することが可能になるでしょう。

このことは、テスト・実験調査を発注するクライアントの担当者には必須の知識であるとともに、受注する側の調査会社の方にとっても、クライアントと協力してよりよいテスト・実験調査計画立案の助言を行い、妥当な実施を行い、結果から有用な情報を検出・提供する手助けとなるでしょう。そのため、クライアント・調査会社双方のテスト・実験調査の計画・実施・分析担当者に、ぜひ受講されることをお勧めします。

・日程: 2024 年 12 月 13 日(金) 10:00~17:00

・会場: JMRA 研修室 (会場集合型対面形式)

詳しくはこちら



定性調査 分析力を養う実践講座

2025年1月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)

●定性調査 分析力を養う実践講座

定性データを整理・読み解いて、クライアントのアクションに繋がる情報に導く「定性調査の分析」を、体験を通して学びます。

事例を用いて、「自ら考える」+「しっかり議論する」を繰り返し、実践的に分析力を鍛えます。定性調査で得られたデータとの向き合い方、解釈の仕方などについて学びます。

講義と演習を組み合わせ、「分析」のプロセスを体験します。議論、発表、フィードバックの繰り返しで、新しい気づきを学びに繋がります。「解釈」の重要性にフォーカスし、「解釈する力」を鍛えることで「分析力」のアップを目指します。

リサーチャーには、とくに「解釈する力」が求められていますし、「解釈する力」をつければ、定性情報との接し方や関わり方も変わってきます。

本講座では、解釈を意識しながら演習を行うことで、課題に応える分析の考え方を学んでいきます。

・日程: 2025年1月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)

各日 13:00~17:00

・会場: オンライン (Zoom ミーティングを使用)

[詳しくはこちら](#)



マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座

2025年1月20日(月)・27日(月)

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座 ~予測要因分析と構造分析の利活用~

本講座では、多変量解析の手法である「予測要因分析」と「構造分析」について学習します。

マーケティングの視点からは、検出された各要因(「独立変数」、「説明変数」)のどの要因が、どのように消費者の購買態度・行動(「目的変数」、「従属変数」)に影響を与えているのかが判明しますので、マーケティング戦略に大いに活用することができます。

また、消費者の態度・行動の背景にあり、その基となる複雑重層的な要因構造を探索・究明することは、製品・サービスのターゲット層を見出し、そのターゲットをどのようなコンセプト、どのような素材や効能(コンセプト付きプロダクト)で攻略するのかというマーケット戦略の構築に大いに役立つと考えられます。

そのため、クライアント・調査会社双方のマーケティング・リサーチ計画・分析担当者にぜひ受講されることをお勧めします。また、コンピュータ上で解析モデルを運用する担当者にとっても、本講座は作業内容の理解と品質向上に役立つため、受講をお勧めします。

・日程:2025年1月20日(月)・27日(月) 各日 10:00~17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式)

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

●「JMRA アニュアル・カンファレンス 2024」が盛況のうちに終了

2024年11月28日(火)に開催した「JMRA アニュアル・カンファレンス 2024」は、500名を超えるご参加をいただき、終了しました。

当日の様子は、今後メルマガとホームページにてご紹介します。



●JARO 主催セミナー「No.1・高評価%表示 消費者庁報告書と今後の留意点」のご紹介

日本広告審査機構(JARO)が主催する「No.1表示」や「高評価%表示」の最新動向と実務対応を学べるセミナーが開催されます。このセミナーでは、消費者庁が9月に発表した「No.1表示に関する実態調査報告書」を中心に、不適切な表示問題や実務上の留意点を深く掘り下げます。

第1部では、消費者庁表示対策課課長補佐の中山千明氏より、報告書の内容や重要ポイントを詳しく解説いただきます。

第2部では、弁護士の古川昌平氏と日本マーケティング・リサーチ協会の一ノ瀬裕幸氏が、報告書をどう捉えるべきかや「No.1表示」「高評価%表示」に関連する最新のトレンドを解説し、具体的な事例を用いた検討を行います。

本セミナーは有料ですが、JMRA 会員であれば「JARO 会員価格(=4,000 円)」でお申し込みいただけます。

- ・日程:2024 年 12 月 18 日(水) 15:00~17:00
- ・会場:Zoom ウェビナー(1 週間のアーカイブ配信あり)

詳しくはこちら
(外部サイト:日本広告審査機構)

●メルマガ通常号は、12 月号は 12 月 17 日(火)発行予定です

- ◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。
- ◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。
- ◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
- ◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。
- ◆配信元:一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階
<http://www.jmra-net.or.jp/>
office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。